

とんがらん通信

思いよ届け

歌にのせて

No.252

～主な内容～

- ・施設長コラム
- ・活動紹介（アートの日・屋外活動ほか）
- ・アマビエ展 ・研修報告
- ・Close-up! ・職員コラム ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2021年7月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



『なしくずし』について考える の巻

『オリンピック、ホントにやるつもりなんだねえ。』先日、くるみグループの菊地愛子さんがこんなことをつぶやきました。このコラムでも時々登場してくれたり、ホームページでもご紹介しているので、愛子さんのことをご存じの方も多いかと思えます。手芸や写真・旅行・お出かけが大好きな愛子さんは、その時々思ったこと・感じたことをポエムや日記にして届けてくれます。後日届いた日記にはこんなことが書かれていました。『毎日TVでコロナふえたり少なくなったりのいそがしいくりかえし。私たちの心もなやまされます。オリンピックもある（国で決めた）。ワクチンがすくない（国から来る）。いったい私たちはどうすればいいかわかりません。今年も果物かりも旅もNGなんだとおもうとなきたくなることもあります。心に重いストレスもたまります。本当はオリンピックをNGにしてほしいです。でもこれは国できめたことなのでわれわれは、なにもできません。ただTVを見てオリンピックするなっってもんくをいうだけです…』

新型コロナウイルスの第5波到来が間近に迫る中、東京オリンピックが開催されようとしています。『延期』を含め『中止』を求める7割を超える圧倒的な世論を押し切ったの、まさに『なしくずし的な』開催です。。

ん…『なしくずし』…。使い方間違えてないかしら。。。合ってる…？

この『なしくずし』、漢字では『済し崩し』と書きます。もともとは『借金を一度に返さず、少しずつ返済する』という意味だそうです。『済す』は『返済』の『済』なので、『借りたもの、特に借金を返す』という意味なのですね。転じて『少しずつ徐々に行うこと』という風に解釈が広がってきました。いずれにしても、『少しずつ』『徐々に』ことを進めていくということですね。この解釈からさらに派生して、今では『事実を少しずつ積み重ねて、そのことがすでに決定されたこととして成り立たせてしまうこと』という新しい解釈が広がってきています。もちろん本来の意味とは異なりますが、2017年度の『国語に関する世論調査』では『借金をなかったことにすること』という新しい意味で認識している人が6割を超えているという結果が出ています。『話のさわり』『確信犯』のように、時代とともに日本語の解釈も本来の意味から変化しているものが多くあります。現代版『なしくずし』も『徐々に形勢を傾けていって、その勢いで物事を進めようとするさま』という新たな意味合いを得たのではないのでしょうか。うん…そうすると『成し崩し』とか『為し崩し』のほうがぴったりくるように感じますが。。。ちがった～。今回はこんなことを書こうと思ったんじゃないかな！

そう。政治の世界ではこの新しい意味での『なしくずし』の手法がよく使われます。今回の東京オリンピックの開催に関するドタバタ劇は、まさにそのいい例です。世論を無視して、開催ありきで議論を行うことなく、説明もしない。当初の『復興五輪』の理念はどこへやら、次々と『人類がコロナに打ち勝った証として…』とか『絆を取り戻す…』といったスローガンが飛び出しています。何がどうなるのかも聞かされないままいつの間にか聖火リレーがスタートして、気づけば開会式まで1か月を切っている状況です。以前からたびたび取り上げている、沖縄普天間基地の辺野古移転埋め立て工事に関する県民投票にしても然り。民意など何もなかったかのよう、結論ありきで強硬に進めていく政治は非常に危険だと思います。そして、人の噂も七十五日、そのうち話題にも上がらなくなる、そのスピードが加速していることにも危機感を感じます。

秋までに行われる選挙は、この国の未来を掛けたたいへん重要なものになるでしょう。一人ひとりがよく考えて、積極的に参加することが何よりも求められます。

そう。愛子さんは、この1年半理不尽な自粛の中で相当なストレスを溜めながらも、なんとか折り合いをつけて頑張っています。大好きな旅行に早く行けるといいね♪（管理者 山口 収）

七夕イベント～短冊に願いを込めて～

7月3日(土)休日開館日に第1回目のアートの日が行われました。今回のアートの日では七夕飾りの吹き流しの作成を行いました。昨年引き続きコロナ禍ということもあり密を避け各グループにわかれて短冊に願いことを書きました。「たくさん外出がしたい」「おいしいものを食べに行きたい」「乗り物に乗ってお出かけしたい」等…みなさんそれぞれの願いを込めて短冊に書いていました☆
みんなの願いが叶いますように…！！

一説によると、短冊や吹き流しには魔よけの意味もあるんだとか。早くコロナが終息しいつもと
同じ日常生活になるといいですね。(記:八鍬)



めざせ！ キャンプ体験♪

「さんしょ！ 野外活動」

さんしょグループでは、今年度の活動で目標にしていることがあります。新型コロナウイルス感染の状況で人と密になるような場所を避けるため、「広い自然の中へ行こう！」と、山や海などへ行く「野外活動をしよう！」と考えました。その野外活動の最終目標は、今流行っている『キャンプ』です。今年度の野外活動では、まず「山(グランディ21)」へ行って、緑(木や草、花)を満喫してきました。クローバーの葉や花が広がる広場に座ったり、寝そべったりと、たくさんの緑に触れてきました。その次は、「海(仙台新港)」へ行って、潮風を受けての潮の香りや、波の音などを体全体で感じて、大きなフェリーや釣り人の魚も見て楽しむことができました。新緑や潮風を体で感じると、みんなとても良い表情になり、「自然はイイね♡」と体も心も清々しい気持ちになっていました。最終目標の『キャンプ』のため、予定地になっている「水の森キャンプ場」へも皆で下見に行って、場所や施設の確認をしてきました。「どんなキャンプをしようかな？」と皆で話して気分も高まりました。キャンプは秋頃に予定していますが、みんなで色々話し合ったり、他の場所へ行ったりと、キャンプをするまでの過程も楽しみながら、力を合わせて頑張ります！ キャンプへ行った時には、とんがらし通信でまた報告したいと思います。お楽しみに(^^)/



(記:佐藤和)



菊地愛子さんの個展 アマビエ展を開催しました！



4月、愛子さんから希望があったアマビエ作品をメインとした個展についての話し合いをしました。(新型コロナウイルスの流行で、注目されるようになった疫病退散の妖怪アマビエ。自由にお出かけしたいと強く願う愛子さんにとってアマビエは心の支えなのです。)

「かぎ編みがしてみたい!」「スタンドグラスはどうか?」「撮りためていた写真も展示したい!」「羊毛フェルトで作っていたアマビエちゃんも観てほしい。」「アイロンビーズもいいなあ…。」どんどん愛子さんの思いが溢れてきます。6月開催までに全部完成するのかな?と職員の心配もよそに、職人愛子さんは毎日毎日コツコツと作品づくりを進めていきます。初挑戦のかぎ編みでは、何度も失敗して挫けそうになりながらも手を休めることなく頑張る愛子さんの姿に職員も胸が熱くなりました。

今回のアマビエ展は法人内でのご案内となりましたが、仙台つどいの家以外の利用者さんや職員もたくさん観に来てくれました。優しいお顔の羊毛フェルト&あみぐるみのほっこりアマビエ。細かいところまでびっしりと描かれたスタンドグラスアマビエ。愛子さんフィルターを通して見えるどこか懐かしい風景写真。本当にどれも素晴らしい作品です。観ていただいた方に「良かった

よ。」と声をかけられ、照れ笑いの愛子さん。愛子さんの作品に込めたコロナ撃退の祈りが届いた暁には、地域の皆様にもぜひ直接作品を見ていただきたいです。その日まで楽しみに待っててくださいね☆(記:安藤)



↓愛子さんの感想です↓



2021年の夏の アマビエ展 ♪ Amable

6月15～21日まで つどいの家でアマビエ展をしました。

たくさんの方々が私の作っている作品を見学に来ました。
みんなによろこんでもらってうれしいです。
厚かましのぬいぐるみもありがとうございます。

おもい作りの アイロンビーズアマビエちゃん
パネル展(小大)
アマビエマスク(小大)
アマビエスタンドグラス(小大)

アマビエちゃんもよろこんでるよ。

11月は 秋のバザール展です。
こちらにバザール展は猫のモチーフが中心です。

うれしいわあついで水分ほせやう大歓迎♡
秋のバザール展 玉海しほや

コロナが人かたに広がるのを心配して♡

いつもお仕事をありがとうございます

夏 の心

令和3年度 社会福祉法人つどいの家

非常勤研修

つどいの家の設立記念日にあたる7月1日、法人内の非常勤職員等を対象とした研修会が行われました。今年度は各事業所から65名の非常勤職員が参加しましたが、新型コロナウイルスの影響により、少人数ごとに複数の事業所へ分かれる形での開催となりました。

午前は外部から講師をお招きし、『『障がい者の権利擁護』について』というテーマについて、オンラインでの全体会を行いました。一人ひとりが「人としてあたりまえの生活」を行っていくためにどのような支援をしていけばよいのか、ということを改めて考えさせられるお話でした。

午後は全体会の内容をもとに、少人数に分かれてのグループワークを行い、それぞれの感想や意見を話し合いました。オンラインを通して各事業所からも様々な意見を聞いたことで、それぞれが目指す支援への姿勢を共有したほか、新たな支援の視点も見つかるなど有意義な時間となりました。

1日の研修を通して、参加した職員より「日頃の自分自身の支援を振り返るきっかけになった」という声が多く聞かれました。職員それぞれが今後の支援に生かすことのできるような、学びの多い研修となりました。(記：寺島)



内部研修

音楽療法について…

6月18日に内部研修で音楽療法の勉強会を行いました。講師には、仙台つどいの家の音楽療法でお世話になっている、向井田のぞみ先生をお招きしました。音楽療法は、今年度で8年目になりますが、勉強会を行うのは今回が初めてで、長年いる職員も新職員も楽しみにして当日の勉強会を迎えました。前半は、先生から音楽療法についてのお話を聞き、後半はワークショップとして実際に職員達が楽器に触れ、

音楽療法を体験してみました。

勉強会では、音楽療法のセッションの様子を映像で見せてもらいました。利用者さんの様子や変化がとても分かりやすく、特に音楽療法スタート時から参加されている方々の変化には驚きました。始めは音楽療法のお部屋に入ることが難しかったり、椅子に座って最後まで参加することが難しかった方も、今では最後まで落ち着いて座って、ニコニコ笑顔で音楽療法に参加しています。

職員達からも、実際に音楽療法を体験してみることで、利用者さんが日々感じている順番を待っている時のドキドキ感や仲間と一緒に音楽するという楽しさを感じられた！と沢山の感想をいただきました。

今回の勉強会で、今まで音楽療法に触れる機会がなかった職員や新職員、異動職員の方々にもとても良い機会になりました。今後の音楽療法に活かしていきたいと思えます

お忙しい中勉強会をして下さった向井田先生、本当にありがとうございました。(記：佐藤唯)



明日美さん一人暮らし体験はじめました!

大村明日美さんは現在グループホームひかりはうすで生活しています。

昨年8月末頃から、以前から明日美さんが考えていた一人暮らしや、ひかりはうすからの引っ越しについての想いを度々お話ししてくれるようになりました。10月19日には第一回目の一人暮らしについての話し合いが行われました。

話し合いからは明日美さんの一人暮らしへの意思の強さが感じられました。話し合いは続き、一人暮らしの実現に向けて体験ステイ(宿泊体験)2泊3日を行うことになりました。

体験ステイは3月、5月、6月と2泊3日、3泊4日と毎月泊数を増やしていきました。6月の宿泊体験では、地震の影響でガスの供給再開が遅くなり、入浴時間が19時過ぎになってしまうなどのアクシデントもありました。明日美さんは職員の勤務時間をよく理解しており、『フォロー時間は終わりなので早く帰ってください。一人で入浴も出来るし、洗濯機も回せます、干すこともできます。一人暮らしの体験だから…』との申し出があり、後ろ髪をひかれる思いで、その日は帰宅しました。翌朝、明日美さんからは一人で入浴、洗濯をして、きちんと干し、今朝も朝食を作って食べてきました、との報告がありました。

明日美さんは、いろんな経験を積みながら、ステップアップしています。【かわいい子には旅をさせろ】の例えではないのですが、この経験が彼女の人生を有意義にしていると思われます。今後も明日美さんの楽しい人生のお手伝いに精一杯応援していきたいと思います。(記: 亮子)

社福) つどいの家 採用チーム活動について

つどいの家では数年前から現場スタッフを中心とした採用活動チームを組織して求人活動をおこなっています。当初の合同説明会や学内説明会では会場の雰囲気や飲まれて説明はしどろもどろ。手ごたえのないままチームで肩を落として帰ることもしばしばでした。失敗と修正を繰り返して継続してきた今年度、嬉しい知らせが舞い込みました。6月に行われた第1回法人職員採用試験に魅力的な方々が多く応募くださって例年になく受験者数となり、上半期に多くの内定者を決定することが出来ました(福祉の仕事を目指す学生さんの中には資格取得のための現場実習期間の関係から就職活動を下半期から開始する方も多いため上半期は受験者が少ない傾向にありました)。さらに内定者の中には大学2、3年生時から各説明会やインターンシップ等で関わりのあった学生さん達もいて、彼らの人生の大事な選択場面に微力ながら後押しができたかもしれないと思うと感慨深くもありました。



世界を変えた感染症の流行、少子高齢化、価値観の多様化など近年の社会構造の変化が今後を担う世代の職業選択に影響を与えていることは言うまでもありません。そんなさ中に世代のニーズを読み、仕事としての魅力を伝えていくことは本当に難しい事だと実感しています。しかし、伝えることは至ってシンプルだと思直しします。時代が変わろうとつどいの家が貫いてきた理念、培ってきた利用者さんとスタッフたちの笑顔。これしか伝えることはありません。今後も様々な手段で未来のつどいの家を支えていくスタッフ達と出会い続けたいと思います。(記: 堀内)

Close-up! さいとう つかさ 齋藤 司さん



今回の Close-Up!! のコーナーは齋藤司さんです。司さんといえば、ちょっと人見知りで初めての人に緊張してしまうイメージがあると思いますが、実はそばを通りかかるとアピールして手を伸ばしたり、気になる人の前で持っているおもちゃを落としてみたりと実は関わってほしいと思っているのでは! ? と思う場面があります。ちょっと緊張しているかなというときでも持っているおもちゃをつかって遊んでみたり、そばで話しかけたりするところからやってみると仲良くなれるきっかけをつかめるかもしれません。



司さんは、慣れた職員と一緒に歩いたり、お出かけしたりすると笑顔になっていることが多いです。館内にいるときも外の様子が気になってじ〜っと見ていたり、車いすで動いて外に出たいとアピールしていたりすることがあります。茶話会でお菓子を見たとき、「ほしいよ〜!」とアピールしてよく笑顔で手を伸ばしています。今はコロナで活動や外出先が限られていますが、司さんと一緒に缶回収に行ったり、コペルに遊びに行ったりを計画中です☆
もっともっと楽しい活動を通して司さんの笑顔をたくさん見られるといいなと思います!
(記: 吉田)

職員コラム

さいとう ともあき 佐藤 智昭さん



熱帯魚 アピストグラマ

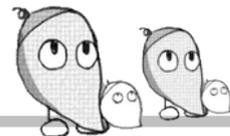
最近、熱帯魚と水草のアクアリウムの沼にどっぷりはまっています。

アピストグラマは南米のアマゾン川やその支流、水たまりや沼のような所に生息している 5 cm くらいの淡水魚です。生息域や環境によって体色やひれの形が違いますが、エメラルドグリーンにきらめくウロコ、背びれが赤く長く伸ばした姿は信じられないくらい美しい魚です。

またこの魚の素敵なのが、ペアを作って子育てをるところです。主にメスが子供を面倒見ているのですが、子供がちょっと遠くまでぶらぶら行ってしまおうと口の中に入れて「もぐもぐ」。食べてしまうのかと思ったら、「ペッ」と吐き出してほかの子供たちのいるところに連れて行ってくれます。オスもメスと子供たちから少し離れたところで、ほかの魚が近づいてくると警戒し、近すぎると攻撃してさりげなく子供とメスを守っています。オスはさぼっていたり、子供に過干渉すぎるとメスに追いかけられたりして逃げていきます。子育て中はメスが恐ろしく強くなりオスはタジタジ、人間の世界もおんなじですかね。

家で過ごす時間が増えている中、アクアリウムをはじめ方も増えているようです。みなさんもぜひ、はじめてみてはいかがでしょうか。





スケジュール schedule

令和3年 8月

- 5日 (木) 音楽療法
- 6日 (金) 健康相談
- 7日 (土) 職員採用試験
- 13日 (金) 防災ネットワーク訓練
- 18日 (水) 施設懇談会
- 19日 (木) ケース会議 13:30 降所
- 26日 (木) 音楽療法
- 27日 (金) 職員会議



令和3年 9月

- 3日 (金) ケース会議 13:30 降所
- 9日 (木) 音楽療法
- 11日 (土) 就職説明会②
- 15日 (水) 防災ネットワーク訓練
- 16日 (木) 還暦を祝う会
- 17日 (金) ケース会議 13:30 降所
- 20日 (月) 休日開館日 (さんしょ)
- 23日 (木) 休日開館日 (けやき)
- 24日 (金) 職員会議
- 29日 (水) 内部研修
- 30日 (木) 音楽療法

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(5月8日～7月15日まで)

吉田さん

見学・来訪者など



山中評議員、音楽療法向井田先生、東北福祉大学 脇本さん 阿部さん 本田さん 亀山さん、宮城学院大学 横山さん、宮城野消防署、各区分調査員の方、求人支援センター仙台東、後援会針持会長・高橋副会長、鶴谷特別支援学校の先生、小松島支援学校の先生、ヤクルト、今庄青果、鈴木米穀、マルイ、マルキ水産、サトー商会、米夢、ダスキン、ホシザキ東北、仙台大気堂、日本テクノ、東北食材、ブルームテック、東京サラヤ、バイタルネット、JCI 瀬戸さん、共栄防災、タカラ米穀、風の郷工房、ハート総合企画、同事建設、千葉商店、AIG 針金さん、結核予防協会、ヤマハミュージック仙台、杜の都産業保健会

法人職員：佐藤清理事長、下郡山理事、大累、小原、佐藤(吉)、飯田、佐藤(秋)、福地、鈴木(恵)、佐藤(靖)、伊達、佐々木健、金野、遠田、榊原、加藤、松野

ほか多数

(以上、ご芳名順不同)

缶回収

5・6月の納品額

合計 6,060 円でした。

ご協力ありがとうございました。

編集後記

毎年聞く、このフレーズ「今年の夏は暑いらしいよ」冬の雪が多いと暑い、雪が少ないと梅雨が長くて梅雨明けがわからないまま夏も終わる、この感じありますよね。今年は特に夏は暑いと言われていきます。ですが、我が家にエアコンがない。ヤバい・・・

扇風機をフル回転で乗り切ろうと家族を説得してる毎日です。みなさんも熱中症には気を付けてくださいね！

(記：有住)